

2019年4月3日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院第2外科に、膵癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

膵癌における癌微小免疫環境の検討 —後ろ向き観察研究—

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 中央内視鏡部 准教授 勝田 将裕

3. 研究の目的

膵癌は予後不良の疾患であり、克服を目指すべきがんの一つです。手術、化学療法、放射線療法に加え、免疫療法も選択肢として注目されています。しかし、免疫療法に関しては、必ずしもすべての症例に対して効果が得られるわけではありません。今後、どのような方が膵癌に対する免疫療法の恩恵を得られるかといった検討を行うべく、切除された膵組織を免疫学的に解析し、臨床経過との関連を調べることにしました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、2010年1月1日から2017年12月31日までの期間中に、膵切除術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、BMI、喫煙歴、臨床検査値（腫瘍マーカー、アルブミン、ビリルビンなど）、術式、手術時間、出血量、術後再発の有無、術後生存期間に関する情報です。

(3) 方法

切除標本における免疫環境と上記にあげる診療情報を解析し、膵癌術後の予後に関連する因子について統計学的に解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報から患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 中央内視鏡部 担当医師 勝田 将裕

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : katsuda@wakayama-med.ac.jp